

## 令和4年 年末訓示

今年も、働き方改革の一環として、年末の休みを明日から取得できるよう、本日1日早めて、年末の訓示を行います。

改めて、この一年間、職員の皆さん、大変ご苦勞様でございました。

今年も、「新型コロナウイルス感染症」への対応が続き、大変お疲れ様でした。第6波、第7波と感染拡大の波は何度か繰り返しましたが、第8波も、今のところは、それほど大きな波にはならず、何とか乗り越えることが出来そうかなと見ています。ワクチン接種は、予防効果はあまり期待できないものの、重症化予防には一定の効果も出ており、着実に進めて参りたいと思います。

しかしながら、コロナ禍にあっても、約3年振りに、各種イベントが開催出来たことは、大変良かったと思います。産業政策課や観光協会の職員には、いろいろと制約がある中での準備等大変だったと思いますが、当日来場された村民の皆さんの笑顔や感謝の言葉に接したことで、その苦勞も報われたのではないかと思います。

健康増進課においては、年間を通しての円滑なワクチン接種の推進に努めていただきました。本当にご苦勞様でした。先週末時点でのオミクロン株対応ワクチンの接種率は、47%となっております。若干低いように思われますが、1回目2回目が84%を超え、3回目も72%を超えるなど着実に実績を上げたと思います。4回目以降の接種率が全体的に下がっていますので、今の状況もやむを得ないことだと思いますが、引き続き、接種勧奨を続けてまいりましょう。

また、産業政策課においては、「クーポン割引キャンペーン」や「キャッシュレス決済ポイント還元事業」などに取り組んでいただき、大変ご苦勞様でした。コロナ禍における生活者支援や事業者支援もいろいろと行ってまいりましたが、今は、物価高騰対策への関心が高まっており、今後とも、地域経済の状況を見極めながら、必要な施策を展開してまいりたいと考えておりますので、引き続き、よろしく申し上げます。

そして、電気代の値上げなど物価高騰対策としては、農業関係者や福祉施設等に対して、速やかな支援策を講じることが出来ました。農業政策課や地域福祉課においては、短期間で施策をまとめていただき、感謝します。また、子育て支援課においては、国や県の給付金が continuing 中で、村独自の給付事業に

も取り組んでいただきました。多くの事務作業を確実に処理してもらいました。大変ご苦労様でした。

その他の役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。

今年は、組織再編を行いましたので、事務分掌が変わり、戸惑うことも多かったかと思いますが、それぞれの職場で頑張ってもらいました。

特に、総合相談支援課は、福祉の相談窓口をワンストップにするという方針のもとで、執務場所も「なごみ」から「絆」に移動したことから、大きな負担をかけてしまいましたが、これから村民の皆様にとって、安心して相談できる場所となるよう実績を積み上げてまいりましょう。

また、地域戦略課では、新たな施策にチャレンジしてもらいました。「選ばれるまち」の実現を目指して、転入者確保のための新たな助成制度をスタートさせました。「人づくり」の一環として始まったT-プロでは、つながるトークや集えるサロン、スマホクリエイターズ養成など大きな前進が見られました。その成果は、ラフェット・デラブルの事業展開にも大きく影響を及ぼし、本村に新しい風を呼び込んでくれています。さらに、まるデジ構想の推進においても、BPRの更なる推進やスマホ相談窓口の充実強化など、ロードマップに沿って着実に前進していると感じております。

そして、財政経営課においては、ファシリティマネジメント担当を配置したことで、公共施設の有効活用について、様々な検討が始まり、庁内での協議も少しずつ進んできたのではないかと見ています。来年は、自分ごと化会議の手法を用いて、村民の皆様も巻き込んだ議論が出来ればと考えているところですので、よろしくお願ひしたいと思います。

また、政策推進課においては、年度途中から、私の意向で、「タウンミーティング」を始めてもらうことになり、大変ご苦労様でした。年度当初の事務分掌にはない事業であり、事業内容の検討から実施に係る準備まで大変だったと思います。既に4地区を終了しましたが、私自身は、手ごたえを感じているところであり、残り2地区と来年度に向けて、さらに工夫改善を重ねてまいりましょう。

最後に、原子力政策においても触れておきたいと思います。東海第二発電所については、安全性向上対策工事が進められており、その進捗状況は、今後とも注視していかなければなりません。一方で、コロナで延期が続いておりました守谷市への避難訓練が実施出来たことは、大変良かったなと思っています。久しぶりの避難訓練ということで、スムーズに出来なかった部分もありましたが、必要な検証は出来たのかなと考えています。今後は、避難計画の策定に向

けた準備をしっかりと進めてまいりましょう。

このほかにも、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話することはできませんが、全体としては、コロナ禍においても、ある程度、事業を推進できたのではないかと感じております。大変ご苦勞様でした。

ただし、ちょっと心配している部分もあります。コロナ禍が続き、マスクを付けた生活が定着してしまいましたが、職員の皆さん同士のコミュニケーションが上手く取れているのかなあと心配しています。口元が見えないことで、表情が分かりづらく、親睦会や共済会の行事もなくなって、何気ない普段の会話が出来ていないことは、ちょっとしたギャップが生まれやすい状況になっているのではないかと危惧しています。どうか、一人ひとりが職場でのコミュニケーションを大事にするようにしてください。よろしく申し上げます。

今年の年末年始の休みは6日間ですが、有給休暇も上手に使いながら、しっかりとリフレッシュしてください。特に、家族との時間を大切にしてください。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明けには、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。